名古屋地方気象台

愛知県地震概況
令和５年（2023 年）８月

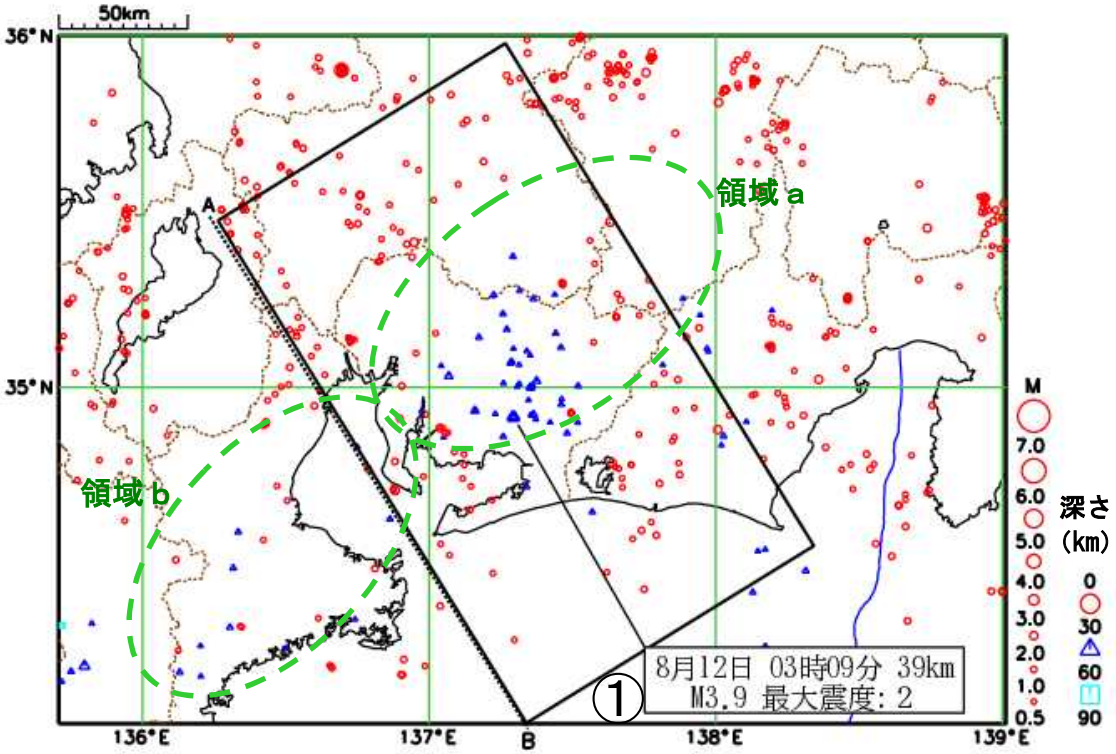
この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

１．愛知県内で震度１以上を観測した地震の状況
　８月に愛知県内で震度１以上を観測した地震が２回発生しました。

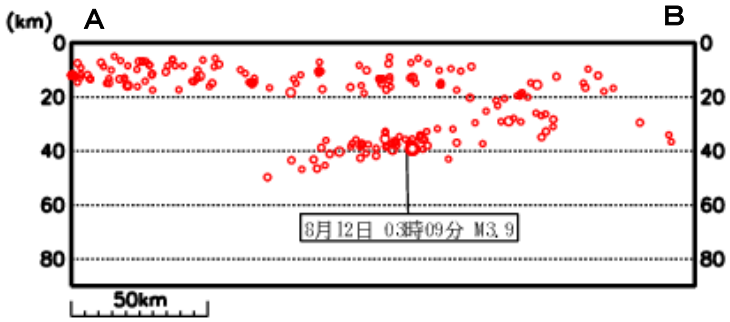
２．愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震
　①12 日 03 時 09 分に愛知県西部で M3.9 の地震（最大震度２　深さ 39km）が発生しました。

３.深部低周波地震の活動状況
・東海（領域ａ）
　12～14 日、30 日
・紀伊半島北部（領域ｂ）
　３～８日、10 日、14 日、21 日、24 日



震央分布図（2023 年８月１日～31 日　深さ０～90km　M≧0.5）

深部低周波地震（微動）
深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。
（注）Ｍはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、Ａ－Ｂに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度１以上を観測した地震

愛知県西部（１頁目震央分布図①）

８月 12 日 03 時 09 分に愛知県西部で発生した M3.9 の地震（深さ 39km）により、愛知県新城市、豊根村、豊田市、安城市、西尾市、東海市、東郷町、みよし市で震度２を観測したほか、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県で震度２～１を観測しました。（図１）。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。今回の地震の震央周辺では、M4.0 程度の地震は時々発生しています（図２～４）。

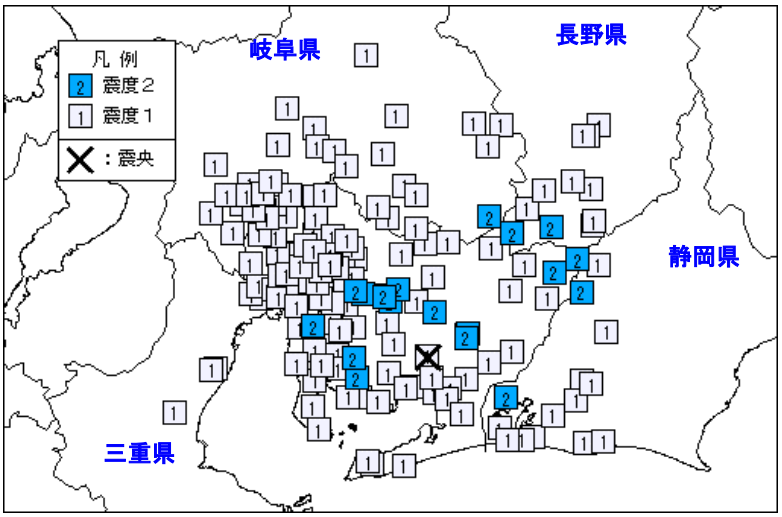
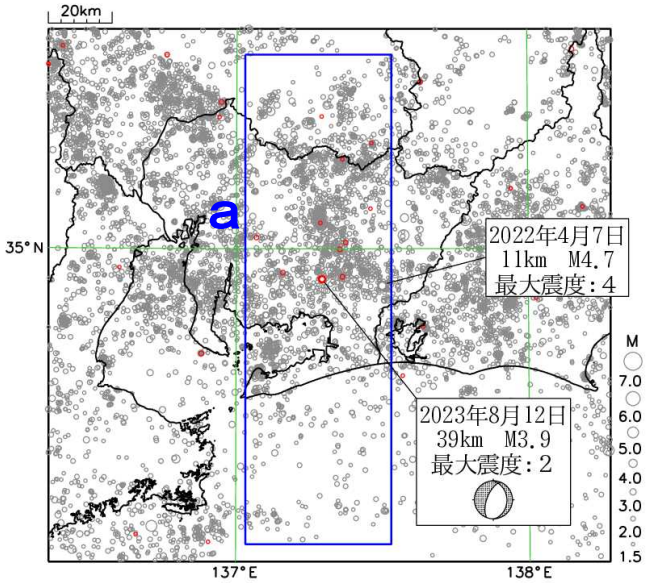


図１　８月 12 日 03 時 09 分 M3.9　震度分布図
（観測点別、×：震央）



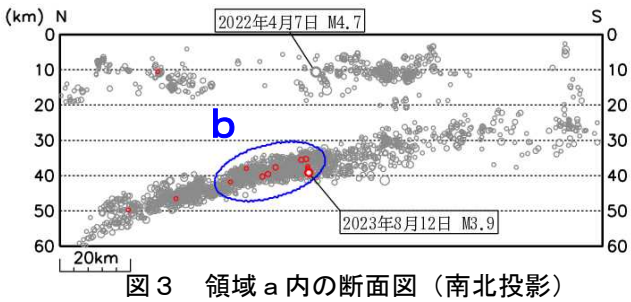


図３　領域ａ内の断面図（南北投影）

図２：震央分布図
（1997 年 10 月１日～2023 年８月 31 日、
深さ０～60km　M≧1.5）
2023 年８月以降の地震を赤色で表示

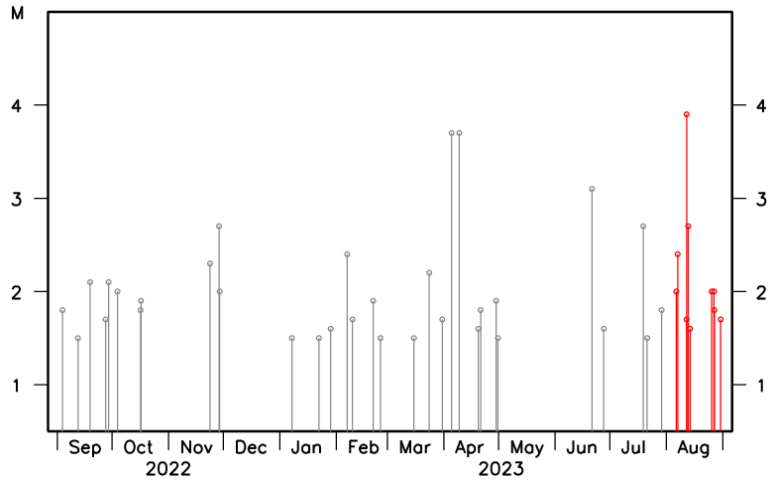


図４　領域ｂのＭＴ図（過去１年間）

福井県嶺北（１頁目震央分布図領域外）

８月 19 日 14 時 07 分に福井県嶺北で発生した M4.3 の地震（深さ 10km）により、福井県大野市、勝山市、岐阜県高山市で震度３を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿地方にかけて震度２～１を観測しました。（図５）。この地震は地殻内で発生しました。

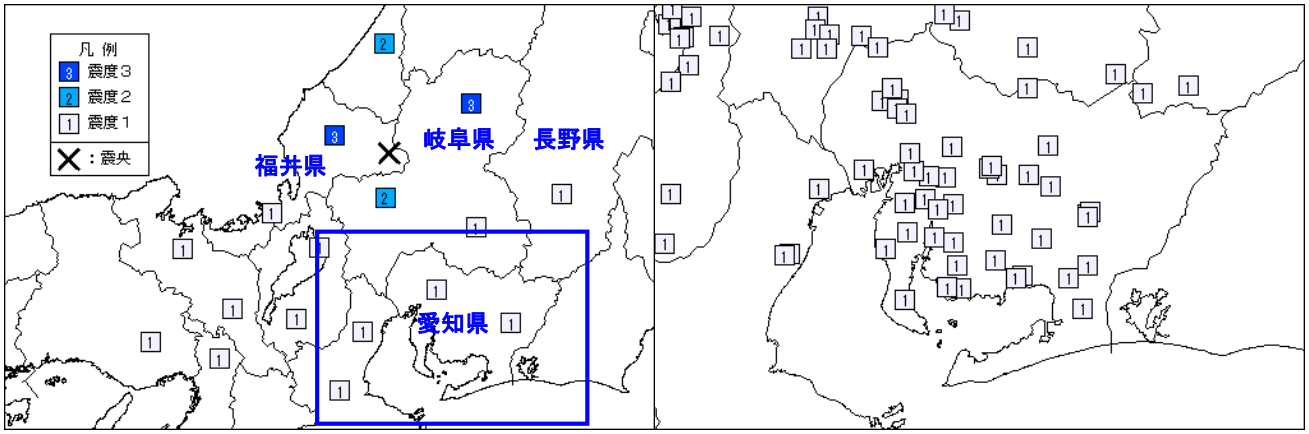


図５　８月 19 日 14 時 07 分 M4.3　震度分布図
（左図：地域別、右図：観測点別拡大図、×：震央）

○震度１以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）　震央地名　緯度　経度　深さ　マグニチュード 各地の震度
2023年08月12日03時09分　愛知県西部　34°54.8'N　137°17.6'E　39km　M3.9 愛知県　震度　2：新城市作手清岳,新城市作手高里松風呂＊,新城市作手高里縄手上＊,豊根村下黒川＊ 豊根村富山＊,豊田市小坂町＊,豊田市大沼町＊,豊田市百々町＊,豊田市長興寺＊ 安城市和泉町＊,西尾市矢曽根町＊,東海市加木屋町＊,東郷町春木＊ 愛知みよし市三好町＊ 震度　1：豊橋市向山,豊川市赤坂町＊,豊川市小坂井町＊,豊川市諏訪＊,豊川市一宮町＊ 豊川市御津町＊,蒲郡市御幸町＊,蒲郡市水竹町＊,新城市乗本,新城市東入船＊ 設楽町津具＊,設楽町田口＊,東栄町本郷＊,田原市福江町,田原市古田町＊ 田原市赤羽根町＊,名古屋千種区日和町,名古屋北区萩野通＊,名古屋西区八筋町＊ 名古屋中村区大宮町＊,名古屋昭和区阿由知通＊,名古屋瑞穂区塩入町＊ 名古屋熱田区一番＊,名古屋中川区東春田＊,名古屋港区金城ふ頭＊ 名古屋港区善進本町＊,名古屋南区鳴尾＊,名古屋守山区下志段味＊ 名古屋守山区西新＊,名古屋緑区有松町＊,名古屋名東区名東本町＊ 名古屋天白区島田＊,岡崎市若宮町,岡崎市樫山町＊,一宮市西五城＊ 一宮市木曽川町＊,一宮市緑＊,半田市東洋町＊,春日井市鳥居松町＊,碧南市松本町＊ 刈谷市寿町＊,豊田市小坂本町,豊田市大洞町,豊田市藤岡飯野町＊,豊田市坂上町＊ 豊田市畝部西町＊,豊田市足助町＊,豊田市稲武町＊,豊田市小原町＊,豊田市小渡町＊ 西尾市一色町,西尾市西幡豆町＊,西尾市吉良町＊,犬山市五郎丸＊,常滑市飛香台 小牧市安田町＊,稲沢市祖父江町＊,稲沢市稲府町＊,大府市中央町＊,知多市緑町＊ 知立市弘法＊,尾張旭市東大道町＊,高浜市稗田町＊,豊明市沓掛町＊,日進市蟹甲町＊ 豊山町豊場＊,扶桑町高雄＊,蟹江町蟹江本町＊,飛島村竹之郷＊,阿久比町卯坂＊ 東浦町緒川＊,南知多町豊浜,愛知美浜町河和＊,武豊町長尾山＊,幸田町菱池＊ 愛西市石田町＊,清須市西枇杷島町住吉＊,弥富市神戸＊,弥富市前ヶ須町＊ あま市木田＊,あま市甚目寺＊,長久手市岩作城の内＊
2023年08月19日14時07分　福井県嶺北　35°54.2'N　136°41.6'E　10km　M4.3 愛知県　震度　1：豊橋市向山,豊川市諏訪＊,豊川市一宮町＊,蒲郡市御幸町＊,蒲郡市水竹町＊ 新城市作手清岳,新城市作手高里松風呂＊,新城市作手高里縄手上＊ 名古屋北区萩野通＊,名古屋西区八筋町＊,名古屋瑞穂区塩入町＊,名古屋南区鳴尾＊ 名古屋緑区有松町＊,岡崎市若宮町,岡崎市樫山町＊,刈谷市寿町＊,豊田市小坂本町 豊田市大洞町,豊田市小坂町＊,豊田市大沼町＊,豊田市坂上町＊,豊田市長興寺＊ 豊田市足助町＊,安城市和泉町＊,西尾市一色町,西尾市吉良町＊,西尾市矢曽根町＊ 常滑市飛香台,東海市加木屋町＊,大府市中央町＊,知立市弘法＊,高浜市稗田町＊ 岩倉市川井町＊,豊明市沓掛町＊,日進市蟹甲町＊,飛島村竹之郷＊,阿久比町卯坂＊ 愛知美浜町河和＊,幸田町菱池＊,清須市春日振形＊,北名古屋市井瀬木＊

（注　＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国土研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。
※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。
※2020年９月以降に発生した地震を含む図については、2020年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

「南海トラフ地震に関連する情報について

駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせします。

「南海トラフ地震に関連する情報」は、以下の２種類の情報名で発表します。

南海トラフ地震臨時情報

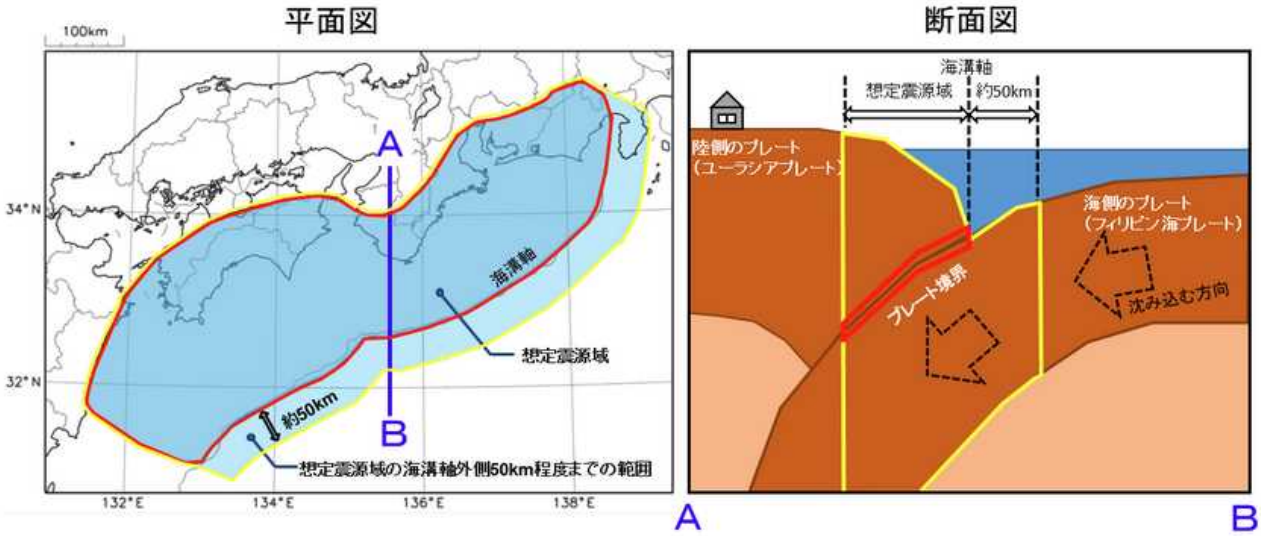
・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

南海トラフ地震関連解説情報

・観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合

・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く）



想定震源域内（科学的に想定される最大規模の南海トラフ地震の想定震源域（中央防災会議、2013））のプレート境界部（図中赤枠部）と監視領域（想定震源域内および想定震源域の海溝軸外側 50km 程度：図中黄枠部）

（参考）
南海トラフ地震に関連する情報が発表された際の行動等について説明した小冊子です。
東側編は、四国沖で先に地震が発生すると想定した南海トラフの東側地域にお住まいの方向けの内容になります。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html
（作成：内閣府・消防庁・気象庁　発行：令和４年）